

子育てAI

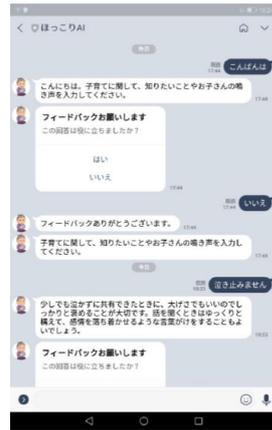
「AIが導く適切な情報」と「自治体・支援団体へつなぐシステム」で 子育て不安や孤立育児をなくす

学習するデータベースを活用した安心子育て

開発の内容

商品・サービスの内容

- 子育てに悩む妊婦や親を助ける知恵を持つ「ほっこりAI」と、直接的支援が必要な時に自治体や支援団体とつながることができるシステム



ほっこりAI

ターゲットユーザー

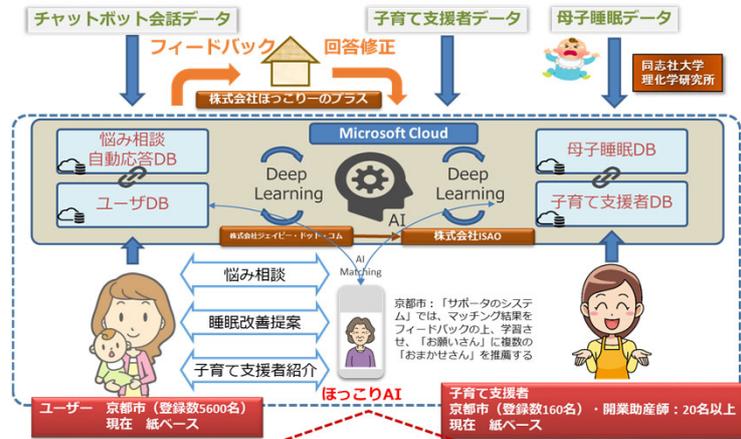
- 妊婦および乳児を育てる母親

ユーザーベネフィット

- 気軽に「ほっこりAI」に相談することで、疑問が解決される。
- 赤ちゃんの睡眠タイプを知り、その改善アドバイスが受けられる。
- ストレスチェックのツールを使い、自身の心理状態や健康状態を把握できる（うつ予備軍の早期発見）。

差別化のポイント

- 子育ての疑問解決のために、データベースに基づいてAIが導いた適切なアドバイスを提供する。
- 必要に応じて直接的・個別的支援につなぎ、孤立育児を防ぐ。



子育てデータベース

課題と対策

- ユーザーインターフェースの開発と「ほっこりAI」の評価
- 自治体や支援団体などの支援者ネットワークの構築
- 子育て情報、睡眠情報などの収集による子育てデータベースの拡充

進捗状況	ステージ	原理・検証	技術開発	実証・事業化前
	現状			

ほっこり～のプラス(株)

テーマ担当：京都大学 学術情報メディアセンター 小山田 耕二教授、同志社大学 板倉 昭二センター長
理化学研究所 桜田 一洋副プログラムディレクター、日本大学 尾上 洋介准教授

